

意見収集の場「なかが話」を踏まえた今後の区政の方向性について

1 代替事業について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年ワークショップ形式で開催していた区民会議意見収集の場「なかが話」を中止し、令和3年度の実施を目指しておりましたが、以前のような開催は実現できませんでした。しかしながら、『出張！「なかが話」』と題して代替事業を以下のとおり実施いたしました。

2 参加者

名古屋市立工業高等学校（以下「工業高校」という。） 生徒会 7名
愛知県立中川商業高等学校（以下「商業高校」という。） 生徒会 6名

3 開催日時

工業高校：令和3年11月8日（月） 16時～17時
商業高校：令和3年11月16日（火） 16時～17時

4 実施内容

別紙1『出張！「なかが話」プログラム』のとおり

5 実施報告

別紙2『出張！「なかが話」実施報告書』のとおり

6 アンケート結果

別紙3『出張！「なかが話」参加者アンケート結果』のとおり

7 まとめ

これまでの「なかが話」の形式では、各グループに1名ずつ高校生が入る形で実施していたが、代替事業ではフレンドシップ協定を締結している区内の高校生だけを対象とした。普段から知っているメンバー同士であるだけに、かなり活発に意見交換がなされていたとともに、同じ環境下にいるため、取り組みを考える際も「自分たち」に何ができるのかを実生活に則した形で共に考えている姿があった。

また、両校とも目指す地域の姿に「明るい」というキーワードがあり、活動中もどうやったら地域が楽しく、明るくなるのか、を考えているのが印象的であった。その中で「集まって何かしたい」という意見が出てきたため、コロナ禍で集まるのが難しいからこそ、区民まつりなど「つながり」を感じられる場を望んでいるように思われた。

今後地域の一員としての役割も担っていくことになる高校生が、今回の活動を通して、地域に対して関心が高まったことは大きな成果であり、これを区の施策に積極的に活かしていくことが我々の課題であると改めて認識できた。

令和 3 年度中川区区民会議意見収集の場

出張！「なかが話」プログラム

ねらい

生活様式が多様化し、行政が様々な施策を展開しているだけでは解決が難しい課題も増えてきている中で、これから地域の一員としての役割も担っていくことになる高校生の皆さんには、「自らが地域の課題を見つけ、その解決に向けてどのような関わり方ができるか」を考えていく力が必要になると考えています。

そこで、今回の活動を通して、自分の住む地域について関心を持ち、地域を運営していく一員であることの自覚をもってもらいたいと思います。

本日の流れ

- 16 時 00 分～ 開始、区役所あいさつ等
- 16 時 05 分～ 自己紹介タイム！
- 16 時 10 分～ 地域の「課題と理想」について（事前課題シート②をもとに）
- 16 時 20 分～ 「目指す地域の姿」の設定
- 16 時 30 分～ 目指す地域の姿に向けての取り組みについて
（事前課題シート③をもとに）
- 16 時 45 分～ 実施する取り組みの設定
- 16 時 50 分～ 取り組みをするために必要なことについて
（事前課題シート④をもとに）
- 17 時 00 分 終了

お願い

1. 正解はありません！遠慮無くご発言ください！
2. いつもより少し「聴く」ことを意識してください！
3. リラックスして、楽しみましょう！！

<工業高校>

① 地域の「課題と理想」について

- ・ 自転車が歩道や車道を走行していて危ない。⇔自転車専用道がほしい。
- ・ 学校の近所や住宅街などが夜になると暗い。⇔街灯を明るしてほしい。
- ・ 道に落ち葉が落ちていて滑って危なかったり、ごみ、鳥の糞もそのまま汚い。
- ・ 夜にバイクの音がうるさい。
- ・ 壁やトンネルなどの落書きが多くそれが残っている。
- ・ 公園のトイレや遊具、ベンチがボロボロで危ない。
- ・ 標識やミラーの向きがおかしいものがある。
⇔ミラーや防犯カメラを設置してほしい。
- ・ 中川区は多くの川に挟まれているため自然災害への不安がある。

② 目指す地域の姿

「町も心も明るくなれる地域」

③ 目指す地域の姿に向けた取り組み

- ・ 学校全体でごみの量を削減する。
- ・ 公園や道路の清掃活動や定期的なクリーン作戦を実施する。
- ・ ポスターの掲示で自転車のルールを周知する。
- ・ 街灯の照度を上げたり、切れていないかを確認する。
- ・ 心の不安を消すために防犯パトロールを増やして犯罪を減らす。
- ・ フェスや得意なことを披露する祭りなど、地域のコミュにケーションを増やすイベントを開催する。
- ・ 学校や会社などの困いがないと話さないため、地域の人と楽しく話せる場が必要。
- ・ 地域に対する不満や困っていることを話せる場をしっかりと伝える。

④ 実施する取り組み

「清掃活動」

⑤ 取り組みを行う上で必要なこと

- ・ 人を集めるための告知方法の検討
- ・ 道具
- ・ ごみの回収後の手続き

⑥ 告知方法として有効な手段は何か（当日の回答を受けての追加質問）

回覧板、バス停やスーパーへの掲示、ビラ配り、テレビ CM

<商業高校>

① 地域の「課題と理想」について

- ・自転車の無灯火など交通ルールを守ってほしい。
- ・夜に道が暗い場所が多く怖い。
- ・夜に散歩している人が見えない。
- ・道がガタガタなので整備してほしい。
- ・学校や駅の周りなど人が多いところのごみのポイ捨てが気になる。
- ・災害時の理解が足りていないため、防災・減災について気にしてほしい。
- ・川が汚れているためきれいになってほしい。

② 目指す地域の姿

「美しい環境、安全な暮らし、明るい地域！！」

③ 目指す地域の姿に向けた取り組み

- ・ごみ箱の設置数を増やす。
- ・学校の行事などで清掃活動をする。
- ・道路の白線を濃くする、ガードレールの設置、自転車専用レーンの設置、横断歩道を増やす。
- ・頻繁に学校などで地域のことを話す、地域の現状を知ってもらう。
- ・地域の人が集まれる場所や機会をつくる。
- ・夜の散歩時はライトを持ってもらう、街灯を増やす、夜の見回りの強化をする。
- ・さまざまな区の言葉であいさつ運動をする。
- ・避難訓練を地域で実施する、地域のハザードマップを作る。
- ・国際交流をする。

④ 実施する取り組み

- ・ハザードマップの作成
- ・あいさつ運動の実施
- ・ブロック別ごみ拾い大会などの行事としての清掃活動
- ・ごみ箱の拡大

⑤ 取り組みを行う上で必要なこと

- ・人
- ・希望
- ・やる気
- ・愛
- ・お金
- ・元気
- ・笑顔

⑥ どうしたら地域や区に愛着をもってもらえるか。(当日の回答を受けての追加質問)

- ・ナッピーなどのキャラクターをポストや横断旗につけて馴染ませる。
- ・自分たちがあいさつ運動などをすることで、応援したいと思ってもらう。
- ・犬の光るリードなどを普及させるなど、特色を出す。

出張！「なかが話」参加者アンケート結果

参加者 13 名の回答結果については以下のとおりです。

- 1 本日の「なかが話」の課題はいかがでしたか。(あてはまるもの1つ)

難しかった：2名 ・ ちょうどよかった：11名 ・ 簡単だった：0名

- 2 本日の「なかが話」に参加して、地域について理解や関心は高まりましたか。
(あてはまるもの1つ)

高まった：12名 ・ 少し高まった：1名
あまり高まらなかった：0名 ・ 高まらなかった：0名

- 3 本日の「なかが話」に参加していかがでしたか。(あてはまるもの1つ)

とても良かった：12名 ・ 良かった：1名
あまり良くなかった：0名 ・ 良くなかった：0名

(良かったこと、不満なことなど) ※主な意見を抜粋

- ・ 今まで意識することがなかった地域に目を向ける機会ができてよかった
- ・ 話がかたくなるしくなく、意見が言いやすかった
- ・ 生徒会で楽しく中川区のことについて話せてよかった
- ・ 自分が考えていたことをより詳しく知れたり、考えていなかった案が聞けてよかった
- ・ 地域として取り組むこと、学校で取り組むことが見えた
- ・ さまざまな課題や取り組まないといけない事が見えてきたのでよかった
- ・ ずっと住んでいる地元もこんな風に活動している人がいたから今があると感じた
- ・ 会話をすることで見えなかったものが見えてきてよい時間になった
- ・ 自分1人では考えられないことが多いが、皆と一緒に考えるのが楽しかった
- ・ ごみ拾いのイベント化はとてもいいアイデアが出たと思う

- 4 あなたのお住まいはどちらですか。

中川区：6名 ・ 名古屋市内（中川区外）：2名
愛知県内（名古屋市外）：5名 ・ 県外：0名